

# さかい学まなぶ 的 にっぽん考

## 私が民間ボランティア活動をするワケ

～ 国づくりの基礎としての民間力の活用 ～

### 私の果たす役割とは

5 / 28、29両日にFNNが実施した世論調査では、3分の2の人が政府の震災への対応は評価できない、8割以上の人が原発事故に関する政府発表は信頼できない、そして86%の人が、今国会で第2次補正予算を成立させるべきだと考えている、という結果が出ました。

また義援金の88%が未支給で被災者に届いていない現状を見ると、「政府がやるべきことをやっていない」のは確かです。

自民党も石破政調会長を責任者として、第2次補正予算の自民党案作りを進めるなどの対応をしていますが、国民は政治が復興に向けてやるべきことをやっているかと十分に認識してはいないと思います。

そのためか、私も「こんな状況下で、なぜ被災地支援のボランティアなどを行っているんだ」とお叱りをいただくことが増えてきました。

しかし、国は国のすべきことがあり、県には県の、市町村には市町村の、政党は政党の、そして私には私の果たす役割があると私は思っています。

議論だけではダメなのです。机上の空論を並べていても何も始まりません。まず、自分で実践することが大事だと思っています。どんなに大きなことを言っても、私は現職の議員ではありません。もし現職であれば、国民の代表として求められるものであるわけですから、その立場での汗の流し方があるでしょう。

ですから、私の役割は今の立場で実際にできる・動かせることをやることだと考え、復興支援に関しては民間ボランティア団体で動いています。

### 動き始めた民間力

私個人での活動となると、すべての被災地を対象に支援はできません。ですから1ヶ所、岩手県大槌町に絞り、しかし、息の長い確実に見える形の支援とその成果を目指し実績を作っていきたいのです。

5 / 30の読売新聞の社会面に「大槌復興まちづくり住民会議」の記事が載りました。この動き

は私たちが仕掛けてきたものです。被災者を横浜まで呼びし、横浜駅前で大規模な募金活動を行い、泉区の公会堂でシンポジウムを開催しました。その時のパネラーのうちの3人が、今度の住民会議の呼びかけ人となってくれました。何の立場も役職もない若手です。

今までであれば、こうした一住民の呼びかけは無視され、つぶされていたものでしたが、活動を通して広く知られたため、町長候補予定者はじめ、町議会議員、漁協の重職者、役場の職員など、町の運営に影響力のある人たちまでが出席する会となりました。小さいこととはいえ、着実に変わってきています。

### 国政に活かせるひな型づくり

大槌町は特別なところではありません。有名な観光地でもないし、物産もありません。だからこそ、私はここから「ひな型」をつくっていきたいのです。

全国には数え切れないほどの過疎地や高齢化して存続が危ぶまれている地域があります。大槌町も同じでした。そして、津波によってすべてを白紙から創り上げなくてはならなくなりました。だからこそ、民間の力を中心にまちづくりを行えば、今までの過疎地域とは違う魅力を感じる地域ができるんだというひな型にしていきたい。そしてそれを全国に発信し、広げていきたいと思うのです。それなら議員浪人中の私でも果たすべき役目があります。

今までにない魅力を、この横浜を始めとする都市部が地方に提供できるのではないかと考えていますし、また顔と顔が見える関係を構築すれば、そこから信頼が生まれ、もっと横浜が提供できる分野が広がると思うのです。

一方、この作業から私たち都市に住む者が学ぶこともあると思います。

(ウラ面に続く)

ご意見をお寄せ下さい



さかい学事務所

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階  
045-863-0900 FAX 045-865-6700 info@sakaimanabu.com

ホームページ <http://www.sakaimanabu.com/>



自民党神奈川県第五選挙区(戸塚区・泉区・瀬谷区)支部

<http://www.sakaimanabu.com/>

(表面より続く)

被災者たちは「いかに無駄なもの、無意味なものが多かったか、すべてを失ってわかった」と言っています。逆に、家族や当たり前の日常が実は最も大事だったということもわかって来たのです。原点に戻るという意味で、それはとても大切です。

都市部も、今の経済システム下で大いに行き詰って来ています。コミュニティ、介護を含む社会保障の不安、環境の悪化などのひずみは子どもの行動に出てきてしまっています。この社会改革の突破口は、実はこの震災地域のまちづくりの中にあるのではないかと考えています。そしていずれこのひな型は国の政策にも貢献していくものだと考えます。

### 自立への支援

私が目指している支援は単なる「ものをあげる」「募金をあげる」ことではありません。今のままでは避難所にいる人たちがすべて生活保護受給者になってしまいます。それでは日本はつぶれてしまいます。

骨格作りは国や県などの行政が行っていくべきものですが、まずは地域が自立しなければなりま

せん。そのためには、若い世代が戻ってくることで、つまり雇用があり、インフラも最低限整備されていることなどが必要になります。このなかで、ボランティアや民間でできることを大槌町を舞台に支援としてやっていきたいと私は思っています。

フィージビリティ(実行可能性や実現可能性を検証する作業)はこれからですが、アイデアがいくつかあります。これをやるのが、今の私の役目ではないかと思っています。

募金疲れなのか、熱が冷めたのか、募金活動をあまり見かけなくなりましたが、私は私の現場である大槌町で支援することがある限りは、その活動をしていきたいと思っています。

## 事務所移転のお知らせ

横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階  
(戸塚小学校前 サントリーパブ「ザ・サラリーマンさんの上」)

電話：045 863-0900

FAX：045-865-6700

(電話、FAXは変わりません)

ゆいっこのページ



## ゆいっこ 横浜言いだしっぺ支部 参加者募集!のご案内

### 復興支援ヒアリング並びに支援か所激励

(定員20名)

ゆいっこ横浜が進める「顔の見える、息のながい支援」の実践のために、支援活動を続けている大槌町を訪れます。今回は、物資支援の時期が終わり、次の段階となった「これからの支援のあり方」について、**現地の希望をヒアリング**し、何が必要か、何ができるかを**具体的に決めて次の活動につなげます**。

また、今までに集めた**ゆいっこ横浜の募金の一部が、プレハブ事務所設置費用の一部となっている「岩手造船所」の激励**にも伺います。私たちの活動がどのように形になっているか、協力をしてきている横浜の方々へ報告する大事な作業の一つです。

とき：6月13日(月)～14日(火)

行程：1日目 昼食 宮沢賢治記念館にて、これからの街づくりの思想を学びます ゆいっこ花巻支部 事務所と倉庫 訪問 宿泊先へ  
2日目 朝食 大槌町 商工会でヒアリング 安渡小学校避難所にてヒアリング 昼食 岩手造船所 激励 新花巻駅

参加費：20,000円(宿泊、お弁当、差し入れ、貸切バス代含む) 横浜 新花巻の交通費は含まれません

集合場所：新花巻駅

### ご支援ありがとうございました!

去る5/29(日)戸塚駅にて、炊き出しに行くための支援金募金活動を行い、95,043円にも上るご支援金をいただきました。ありがとうございます。

ゆいっこ横浜支部が直接支援している岩手県・大槌町の避難所では、今でもカップラーメンを味噌汁代わりにおにぎりを食べるというような、「カロリーは摂れるが栄養のバランス的には不安が残る」メニューが多いそうです。また、炊き出しなどの支援回数も減って来ています。

今回の炊き出しは6/4、5の2日間行います。活動の様子と募金の使途に関しては、後日ゆいっこのらびにさかい学のHPでご報告いたします。

\* \* \* \* \*

ゆいっこでは、「顔の見える、息の長い支援」を目指して活動してまいります。みなさまからのご意見、メッセージをお待ちしております。また、ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部では、義援金・支援金を常時募集しております。お気軽にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

電話：045-863-0900 FAX:045-865-6700

なお、6/13、14のヒアリングに関しては、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。ご了承下さい。

